

学 会 情 報

1. 平成23年度人文科教育学会研究発表会

第19回研究発表会（平成23年5月31日，筑波大学教育学系大会議室）

- 李有珠（筑波大学大学院） 「韓国人日本語学習者を対象とした漢字教育に関する研究」
勝田光（筑波大学大学院） 「児童・生徒のく読み」を捉えるための中心的課題は何か―読者反応研究方法論の研究レビュー―」

第20回研究発表会（平成23年6月21日，筑波大学教育学系大会議室）

- 勘米良祐太（筑波大学大学院） 「明治中期文法教育における規範性の変遷―普通文との関わりから―」
古珮玲（筑波大学大学院） 「台湾における義務教育段階の漢文教育のあり方―漢字文化圏における漢文教育との比較から―」

第51回人文科教育学会大会（平成23年9月3日，於：筑波大学附属中学校）

- 李有珠（筑波大学大学院） 「英語彙彙教授法を取り入れた漢字教育への応用可能性」
森田香緒里（宇都宮大学） 「児童生徒の文章表現における相手意識と言語調整行動」

第21回研究発表会（平成23年10月12日，筑波大学教育学系大会議室）

- 勝田光（筑波大学大学院） 「国語科における読みの社会的構成―間テクスト性を用いた読者反応の分析―」
勘米良祐太（筑波大学大学院） 「芳賀矢一『中等教科明治文典』編纂時の文法教育の課題」

第22回研究発表会（平成23年11月16日，筑波大学教育学系小会議室）

- 李有珠（筑波大学大学院） 「韓国人日本語学習者に対する効果的な漢字指導を目指して」
古珮玲（筑波大学大学院） 「台湾における漢文教育の目標と内容についての一考察」

第52回人文科教育学会大会（平成24年2月4日，於：筑波大学大塚キャンパス）

- 関和哉（筑波大学大学院） 「情報伝達文における自己評価プロセス―メタ認知的判断からのアプローチ―」
菱沼聖子（筑波大学附属高等学校） 「言語活動を活かす古文の授業―1学年国語総合を中心とする実践報告―」

※ 平成20年度の研究発表会を第1回研究発表会とする。

2. 『人文科教育研究』編集規定（平成2年9月8日制定）

1. 本誌は，人文科教育学会の機関誌として，年一回発行する。
2. 本誌は，原則として本会会員の論文等を掲載する。

3. 本誌は、論文、翻訳、書評のほか、学会情報に関する記事も掲載する。
4. 投稿原稿の掲載の可否は、編集委員会の選考によって決定する。
5. 論文等の投稿に関する規定は、別に定める。
6. 投稿原稿の形式・内容の変更・修正につき、編集委員会と執筆者との間で協議を行う場合がある。
7. 編集委員会に関する規定は、別に定める。

3. 『人文科教育研究』編集委員会規定（平成2年9月8日制定）

1. 編集委員会は、会員の中から総会において選出された若干名の委員によって構成する。
2. 編集委員の任期は2年とする。但し、再任を妨げない。
3. 編集委員長は、編集委員の互選によって決定する。

4. 『人文科教育研究』投稿規定（平成2年9月8日制定、平成13年9月8日改正、平成19年9月22日改正、平成22年9月4日改正）

1. 人文科教育学会の会員は、本誌に投稿することができる。
2. 論文原稿は、未発表のものに限る。
3. 論文原稿は、A4版用紙1頁あたり横43字×縦35行で作成し、原則として12枚以内とする。本文には邦文タイトルおよび欧文タイトルのみを明記し、著者名等、著者が特定できるような情報は記さないものとする。
4. 投稿は電子メールへの添付を原則とし、人文科教育学会（jinbunka@human.tsukuba.ac.jp）に送付するものとする。
5. 送付に際しては、氏名（ふりがな、および英語表記）、所属、連絡先（住所・電話番号）を明記するものとする。
6. 締め切りは3月末日とする。
7. 掲載された論文は、原則として、筑波大学電子図書館に登録するものとする。

5. 人文科教育学会規約細則

昭和63年度第1号 過去2年間会費を納入していない会員は、納入するまで機関誌などの配布を受けられない。本細則は、昭和62年度と昭和63年度の2年間の会費未納者から適用される。

昭和63年度第2号 会費を納入していない会員は、原則として、納入するまで機関誌への投稿ができない。

平成2年度第1号 人文科教育学会からの退会を希望するものは、その旨を人文科教育学会事務局に申し出ることとする。なお、書式については任意とする。本細則は、平成3年度から適用される。

【人文科教育学会役員】(50音順)

顧問 倉澤 栄吉 ・ 桑原 隆 ・ 高森 邦明
湊 吉正
会長 塚田 泰彦
事務局長 甲斐 雄一郎
理事 有澤 俊太郎 ・ 甲斐 雄一郎 ・ 川口 幸宏
小谷 悠紀子 ・ 首藤 久義 ・ 塚田 泰彦
常木 正則 ・ 鳴島 甫
監事 初谷 和行

【平成23・24年度編集委員会】(50音順・○は委員長)

○小川雅子・甲斐雄一郎・上谷順三郎・高木まさき・寺井正憲・藤森裕治・柳澤浩哉

【平成24年度学会運営】

内 渉：李有珠 外 渉：小川昌樹
編 集：勘米良祐太 会 計：勝田光

【執筆者】(執筆順)

仁野平智明(沖縄国際大学)・秋田哲郎(筑波大学附属中学校)・石田喜美(常磐大学)・長田友紀(筑波大学)・初谷和行(筑波大学附属坂戸高等学校)